

令和5年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和6年3月27日）

部長	課長	課長補佐	係長	係員	報告者	合議
協議会議事要点録						
会議名	令和5年度 第2回江田島市交流定住促進協議会					
日時	令和6年3月27日（水）10時00分～11時20分					
場所	大柿市民センター 集会室					
出席者	江田島市商工会会長	会長【議長】	ひらた けいじ 平田 圭司	○		
	江田島市自治会連合会	副会長	うえむかい ゆうそう 上向井 裕三	○		
	江田島市女性会連合会会長	監査	かたやま えみこ 片山 恵美子	欠席		
	江田島市商工会青年部部長		きこ ひろかず 迫 寛和	○		
	江田島市社会福祉協議会事務局次長		ふじい しん 藤井 伸	○		
	J Aひろしま江田島アグリセンター長		しらもも まこと 白桃 誠	欠席		
	江田島野菜出荷組合組合		みねきき やすまさ 峰崎 泰昌	○		
	江田島市漁業振興協議会		したまえ きよひろ 下前 清弘	欠席		
	江田島市不動産連合会会		うえもと かずお 上本 一男	欠席		
	体験民宿 NORA オーナー		わせだ けい 早稲田 圭	○		
	江田島市企画部長		はたごうち まこと 畑河内 真	○		
	一般社団法人フウド代表理事		ごとう しゅん 後藤 峻	代理出席 (館長:為政氏)		
1 開会						
事務局	開会宣言					
2 会長あいさつ						
会長	<p>皆さま、おはようございます。</p> <p>江田島市交流定住促進協議会の開催にあたり、一言御挨拶させていただきます。</p> <p>我々も広島県の人口動向に非常に注視している所ですが、2年連続転出超過、それも日本一の転出超過という、広島県大変危機を持っておりまして、これをなんとかしなければなりません。湯崎知事をはじめ連合会の皆様と、話をさせて頂くのですが、転出超過の原因をしっかりと探ってですね、特に若い方の流出を含め</p>					

令和5年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和6年3月27日）

	<p>て、これは社会減ですから、様々な取組を行っていかねばならない。外国人の方も入ってこられると思うのですが、そうはいつでも広島県が、なぜこんなにも転出超過が多いのか、課題解決に向けて県全体で取り組んでいかないと、今まさに産業を支えている、労働人口の人材不足が非常に顕在化しております、我々も賃上げを行っていかないといけないのですが、それよりも、いくら募集しても案内掛けても、人が誰も来ないという状況で、事業継続が大変に困難な状況になっております。何とかですね、広島県の魅力を挙げて、しっかりと労働人口・世代に広島県内に留まって頂きたい、また呼び込んでいきたいと、引き続き頑張っていきたいと思っております。</p> <p>本日はですね、交流定住促進協議会の中で、昨年度は空き家バンクの成約件数が39件、移住者数は34世帯73人と、過去最高となり、メディアにも取り上げられ、江田島にとっては、広島県内で大変注目を浴びている所でございます。そうした中で、本協議会としては初の試みとなる「江田島暮らしイメージツアー」を開催し、計6組の参加者の内、2組が移住決定をされたとお伺いしておりますし、非常に高い成果を上げることができたと認識しております。</p> <p>本日も引き続きまして、協議会の事業や移住定住について、各分野で活躍されている皆様から、忌憚のないご意見を頂きながら、この課題に取り組んで参りたいと思っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。</p>
<p>3 議 題</p>	
<p>(1) 報告事項</p> <p>ア 江田島市交流定住促進事業について（資料1）</p> <p>イ 令和6年度江田島市当初予算について（資料2）</p> <p>ウ 監査委員の委嘱について（資料3）</p>	
<p>議 長</p>	<p>それでは、議題（1）報告事項に入ります。</p> <p>ア「江田島市交流定住促進事業について」イ「令和6年度江田島市当初予算について」及びウ「監査委員の委嘱について」を事務局より、それぞれ報告をお願いします。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>－資料1、資料2、により説明－</p>
<p>議 長</p>	<p>ただいま事務局から説明がありました。質疑はありますか。</p>
<p>各 委 員</p>	<p>（質疑なし）</p>
<p>議 長</p>	<p>ないようでしたら、私の方から質問させていただきます。</p> <p>先程説明のありました資料1の中で、令和4年度の移住者が過去最高の移住者数とご報告を頂いたのですが、様々な要因があると思いますが、主な要因としては何が考えられますかね。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>やはり令和4年度の移住人数・移住世帯数が多かった要因としては、コロナ等の影響もある中で、地方に拠点を求める方が増えていったということと、それに伴い仕事の方も、地方の方に拠点先を求める方も増えたという所が、一番の増加した要因であると思っております。</p>

令和5年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和6年3月27日）

<p>委員</p>	<p>追加で言うと、去年3年間コロナが激しかったので、移住希望者の方が現地視察しに行くことが殆ど出来なかったというのがあって、移動を控えていた人が令和4年度にどっと実際に現地に來るのが増えた気はしています。あとはやっぱりリモートワークの関係で、オフィスで働かなくても良いという会社が増えたのもあって、そのようなこともあって、地方移住の後押しの流れが、令和4年度に出た気がします。</p> <p>ただ最近ではリモートワークでコミュニケーションが取れないので、逆にオフィスで仕事をした方が良いのではないかという、より戻してみたいものが来つつあるので、ちょっと去年よりか、移住に対する盛り上がりは落ち着いている感があります。</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>早稲田さんを始め、様々な活動をして頂いている結果が、ここに出ているのかなど、いま仰ったとおり、コロナの影響下にある中で一極集中が少し弱まったという所もあります。昨日、広島空港振興協議会というのがありまして、自分がその理事になっているのですが、広島空港の今期の利用人数はコロナの時よりは戻ってきているのですが、コロナ前には戻っていないんです。</p> <p>今言われたように、日帰り出張で會議に來ていた人たちが、リモートで東京で広島でやっちゃうというのが、明らかに数字で出てきているので、新幹線も同じよう状況なんですけれども、今のような様々な旅行者の活動を伴う中でも、飛行機の便数を戻せないと、はっきりと言われていたので、一定程度リモートという影響があるのかと思いますけれども、この傾向として江田島市が広島県内において、非常に表現をされているというような声をたくさん頂いております。</p> <p>江田島市の数値なんですけど、他市と比較して同じような傾向があるのではないかなと思うのですが、特に江田島市が増えているということは、ないのですかね。</p>
<p>事務局</p>	<p>全体で県の報告をさせて頂いているものがあるのですが、今年今報告している状況の中で、江田島市が突出して数字が多いという状況ではないです。実はやはり先程のような、都市の回帰志向が現れる中で、広島市中心部に近い地域、または大きな都市の移住件数が伸びていて、これまでも尾道市さん、NPO 法人さんが活発に活動をされてなのですが、そこも件数としては高い方として挙がってきています。そういう影響が今年度は出ていて、江田島市自体が突出しているということはない状況であります。</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>他に質疑はありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>個の移住者の人数の中で、働き先が決まっている状態で來られるのか、未定のまま來られるのか、その年齢層ごとの数字はあるんですかね。</p>
<p>事務局</p>	<p>移住相談を受ける中で、聞き取りが出来たところでの回答となるんですけど、本市への移住者の層として一番多いのが50代以上というか、のんびりと島で老後を暮らしたいという方が一番多いので、若い方々で言うと、こちらに來て探される方も一定数いて、広島市・呉市からの移住者数も多いので、仕事場を変えず</p>

令和5年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和6年3月27日）

	に島に拠点を移されるという方も一定数いらっしゃいます。
委員	追加になるんですけど、逆に広島市の周辺で移住者数が増えているところ、五日市とか府中町とかですよ、その辺の移住者はどのような割合か、そういうのは公表されているものなんですかね。増えている所との照らし合わせがあれば。
事務局	県全体で集計をとりまとめているものが、4月以降に発表されるんですけども、細かい年代の内訳というのは、今は出ていないです。
委員	働き口があるかどうかとか、公表はされているものなんですかね。
事務局	公表されたデータはありません。
委員	分かりました。
委員	<p>先程の仕事の件なのですが、後程の意見交換で話をさせて頂こうと思ったのですが、うちに無料職業紹介がありまして、毎年データをまとめさせてもらっています。今、事務局からあったように、新規で相談が多いのは50代の方、その他は20代・30代・40代・60代と、大体同じくらいの数の方が相談に来られています。相談に来られて紹介して、成功した割合は大体46%です。</p> <p>現状で言うそうですね、全国的に有効求人倍率というのが1.27、令和5年12月時点です。広島県でも1.5位なのですが、江田島市はですね、令和5年12月時点で、4.82ということで、非常に人手不足という所が顕著に出ております。以前も令和4年の状況で求職者と求人の職種の比較をさせてもらったのですが、去年と同じように一番仕事を探されているなかで、希望職種というのは事務職、それから作業、次に運転とか送迎ですね、そういったお仕事探されている方が、非常に多いです。対して組織・法人が求められている方が、販売・接客が圧倒的に多い、その次に介護業務、医療介護とかですね、そのあとは造船を含む工場関係という形になっています。</p> <p>移住された方、新規の相談でですね、新規でうちの無料職業紹介にですね相談に来られた方、令和5年度の数ですけども、資料1の1ページ目の令和5年度の移住社数51名の内という訳ではないのですが、今年度市外から新規で相談された方は22名の方が相談に来られています。引っ越しされた方、そして引っ越し予定の方ということで、22名の方が新規に来られています。このうち就労に今年度繋がった方は1名だけということになっています。</p>
議長	<p>無料職業紹介所の状況について、ありがとうございます。</p> <p>いまお話頂いたようにですね、我々企業にとっても本当に人手不足が大変で、冒頭に申しましたように、事業の継続が困難な状況までいっていると、私実は広島県の最低賃金審査会の委員をやっております、またこれも最低賃金の引上げ、全国の最低賃金がありまして、それに準じていって、広島県はBランクの最低賃金ということで、Aランクは大都市になるんですけども、年に3%以上づつ賃金を上げていっている状況です。そうしていく中で、事実を申し上げておきますと、労働移動という現象が起こってしましまして、島根県とかはCランクなんですよ、広島県はBランクですから、県境をまたいで通勤すると当然、</p>

	<p>広島の方が賃金が高い、広島県内において広島市の方が賃金が高く、周辺部の方から、広島市の方に働きに行ってしまう。もっと極端にいうと、広島市在住の方が東京の方が賃金が良いわけですから、東京へ一極集中するという労働移動現象が起きてしまっているわけですね。</p> <p>働くのだったら賃金が良い所へ、物価上昇もあるんですけども、それ以上に企業努力して賃上げを行っております。この度のパーセンテージで大企業に限ってですが、5.28%賃上げを行いました。我々中小規模事業者は、賃金を上げないと今いらっしゃる支配人さんが、賃金の良い会社に移ってしまうとですね、もっと良い地域に行ってしまう。そこで就職しようと。これは非常に大きくて、外国人労働者も含めてなんです、なかなかこの現象をですね、経済界的にどうしていくかと悩ましい問題が起こっております、江田島市の中で我々も頑張っていて、一所懸命賃金を上げさせて貰いたいと思っておりますけれども中々そのところが、既存の支配人も含めて、新規募集の方の賃金、外国人の募集の賃金もなんですけど、これを上げていかないと、江田島市で働こうということに、中々結びついていかないという現象がありますので、これは我々の定住促進とは違う話かもしれませんが、この部分もですね、委員が仰ったように、仕事を求めて江田島に来て頂くのか、のんびり暮らすことで江田島を気に入って頂いているのか、はっきりしてくるのかなと思いますので、皆様の参考になるかは分かりませんが、今まさに地域経済は疲弊した状況にあることを申し上げたいと思います。</p> <p>他に質疑はありますか。</p>
<p>委 員</p>	<p>前の話に戻るかもしれないんですが、50代の方中心で来られているのは、そもそも移住フェアを沢山されている中で、50代辺りをとか、さっき仰っていた、老後はのんびり島暮らしと思われている方を、ターゲットにフェアに参加されているのか、それともどういった所をターゲットにされているのか、あと、移住市場自体が結局50代中心となるのか、それとも裾野的には20代・30代が結構あるのかというのを教えて頂ければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>ターゲットのほうについては、後程資料の方で、説明させて頂こうと思っておりますが、本市の方でも人口減少だったり少子高齢化という深刻な課題は持っていますので、メインのターゲットとしては、30～40代だったり、子育て世代の方にお子さんと一緒に移住して貰いたいという思いが一番にあるんですけど、東京の移住フェアとうちの相談窓口では、来られる方の層が少し違っております、うちの相談窓口に来られる方は、近隣に住まれていて、なおかつ江田島市の温暖な気候だとか、そういった所に魅力を感じて来られる方がすごく多くて、穏やかに過ごせそうと高齢の方が多いのですが、東京の方では、若い単身の女性の方とか後はUターンを希望される、もともと広島県の方にいるんですけども、その中でも他の市町を見たいという層も多くいらっしゃって、それに応じて相談に乗っています。</p> <p>うちのターゲットとしては出来れば、若い方を中心に呼びたいなという思いはあるんですけども、結果として、高齢の方の希望もたくさん受けているという</p>

令和5年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和6年3月27日）

	状況です。
委員	移住者の年代ごとの割合はどうですかね。私の今までの認識では、子育て世代とリタイア世代が同じくらいの割合でいなかったかなと思うんですけど。
事務局	相談全体で言うと高齢の方が多いんですけども、移住であれば今年の集計で言うと、半々位です。
委員	私の感覚でいうと、子育て世帯が3割ちょっとで、リタイア世代が同じくらい、その以外がその他世帯という印象があったんですが。大体そんな感じですかね。
事務局	その通りです。
議長	今までお試し暮らし制度をされていたと思うのですが、これは継続されるのですか。
事務局	お試し暮らしの家を準備して、そこへお試しで住んで頂くというのを実施していたのですが、近年民営の宿泊施設がオープンしておりまして、そのような所を活用して頂きながら、宿泊をして江田島市に来て、また実際に自分で見て頂いて、良い所を見つけて頂く、そういった方向転換をさせて頂いたので、以前準備していたお試し暮らし用の建物は、制度と併せて廃止をしている所であります。
議長	はい、分かりました。 他にないようでしたら、報告事項を終了します。
(2) 議案	
ア 令和5年度江田島市交流定住促進協議会事業報告及び決算見込みについて（資料4-1、4-2）	
議長	続きまして、議案審議に移ります。 議案ア「令和5年度江田島市交流定住促進協議会事業報告及び決算見込みについて」を審議いたします。 事務局から説明をお願いします。
事務局	－資料4-1、4-2により説明－
議長	ただいま事務局から説明がありました。質疑はありますか。
各委員	（質疑なし）
議長	お諮りします。 議案ア「令和5年度江田島市交流定住促進協議会事業報告及び決算見込みについて」に賛成される方は、挙手をお願いします。
各委員	（委員 挙手）
議長	挙手全員です。 よって、議案ア「令和5年度江田島市交流定住促進協議会事業報告及び決算見込みについて」は、可決されました。
イ 令和6年度江田島市交流定住促進協議会事業計画（案）及び収支予算（案）について（資料5-1、5-2、5-3）	
議長	続いて、議案イ「令和6年度江田島市交流定住促進協議会事業計画（案）及び収支予算（案）について」を議題とします。

令和5年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和6年3月27日）

	事務局から説明をお願いします。
事務局	－資料5-1、5-2、5-3により説明－
議長	ただいま事務局から説明がありました。質疑はありますか。
各委員	（質疑なし）
議長	<p>ないようでしたら、私の方からお話させていただきます。</p> <p>様々な移住フェアだったり、イベントを行って頂くときなど、首都圏の移住フェアに、今江田島市商工会の方で、企業説明冊子を作らせて頂いておまして、社協さん、無料職業紹介所さんと連携させて頂いて、江田島市にはこんな企業がありますよと、働き口としてご活用いただきたいということと、今日来ている江田島市商工会青年部 迫部長が青年部事業についての、冊子を作っておまして、江田島の中にこうした若い方たちが頑張っていますよということをPR出来るようなものを作っておきますので、是非そのようなイベントの際にはご活用頂きたいと思います。</p>
事務局	<p>そちらの方を先日頂きまして、うちの方も活用を考えています。まず冊子の方は配布できるものとして使わせて頂きますし、サイトの方も立ち上げられておりますので、我々県外に行った際に冊子がない場合でも、パソコンで相談業務の際に見て頂けるということがあって、逆に有難く思っております。</p> <p>そうした活用も考えておりますし、また別の会議でもあったのですが、既に江田島市の高校生、もしくは市内に住む高校生が行っていると思われる学校へ産業部が冊子を配っております。また、今後大柿高校にて就職説明会するというのも産業部からも聞きましたし、そういった所でも活用させて頂くということで、本日話にも出ました通り、移住者の方がどのように移住されるのかという中にしごとというのは一番重要な所ですので、そういった所データですとか、協力頂きながら活用をさせて頂こうと思います。よろしくをお願いします。</p>
議長	<p>ご活用いただきましてありがとうございます。</p> <p>とにかくですね、こういったものがあれば良いのになというリクエストがあれば、逆に我々の方に言っただいて、またリクエストに即したものが作れるようであれば、作らせて頂きたいという風に思います。</p> <p>来年度も引き続き、その辺の連携をさせて頂ければと思います。よろしくをお願いします。</p> <p>他に何かございますか。</p>
各委員	（質疑なし）
議長	<p>お諮りします。</p> <p>議案イ「令和6年度江田島市交流定住促進協議会事業計画（案）及び収支予算（案）」に賛成の方は、挙手をお願いします。</p>
各委員	（委員 挙手）
議長	挙手全員です。

令和5年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和6年3月27日）

	よって、議案イ「江田島市交流定住促進協議会事業計画（案）及び収支予算（案）」は、可決されました。
4 役員改選について（資料6）	
議 長	続いて、「4 役員改選」です。事務局から説明をお願いします。
事 務 局	－資料6により説明－
議 長	ただいま、事務局から説明がありましたが、はい。ただいま、事務局から説明がありましており、運営要綱の規定により「会長は、委員の互選により選出する」ということでございます 皆様、いかがでしょうか。
各 委 員	（意見なし）
事 務 局	もし案がないという状況でしたら、事務局より案を説明させて頂いてもよろしければ、そのようにさせて頂きたいのですが、いかがでしょうか。
議 長	皆さん宜しいでしょうか
各 委 員	（意見なし）
議 長	それではよろしくお願いします。
事 務 局	事務局案としては、本市企画部長の畑河内委員を、会長としたいと考えております。 事務局案の説明は以上です。
議 長	はい。ただいま、事務局から説明がありましたが、これについていかがでしょうか。
各 委 員	（意見なし）
議 長	それでは皆様、異議なしということでございます。 新年度からの会長は、畑河内委員にお願いしたいと思えます。 よろしくお願いします。
意見交換	
議 長	ここで、私から一つ委員の皆様に御提案があります。 この場で、お集まりいただいた皆様からもひと言ずつでも、所属されている団体で取り組まれている移住・定住に関する施策、または移住・定住に対する御意見を頂きたいと思えます。
委 員	今、体験民宿NORAと喫茶NORAという、宿泊施設と飲食業をしながら、昨年4月に「江田島エコツーリズム」という観光メインとした、江田島の自然や文化、歴史を次世代につないでいくための活動ということで、瀬戸内いとなみ舎の峰尾さんとともに、江田島エコツーリズムという団体を立ち上げました。 その活動の一環として配布させて頂きました、「空き家・空き物件活用事業の見学&交流ツアー」という一企画なのですが、江田島バスに乗り産業だったり色んなお店を回って、移住希望だったり、企業を考えている方向けのイベントを、

	<p>2024年4月21日に開催します。先程の江田島暮らしイメージツアーと、実施していることは殆ど同じなんですけれども、「江田島エコツーリズム」としては1～2か月に1回、迫委員もそうなんですけれども、味噌・醤油だったり歴史ある食文化を見学ツアーだったりとか、例えば農業の現状を学ぶスタディツアーだったり、月に1回または2か月に1回程度実施して、とにかく江田島の認知度をあげないと、移住にしろ仕事にしろ、なかなか進まないのじゃないかなということを感じていますので、そこを含めていかに江田島市を知ってもらい、自然環境だったり文化を楽しんでいただけるコンテンツを作るかということを目指し、今活動しています。</p> <p>昨年、東京で実施された移住者向けのイベントに参加させて頂いたんですけども、呉市で現状、日本製鉄の停止でかなり転出者が増えると思うんですけども、実際はイベント当日呉市は、かなり人が多い状況で、恐らくこれって呉市の認知度で、移住相談者が集まっているのではないのかなと、私は感じました。呉市・尾道市・廿日市市・広島市という所に、多くの人が集まっているので、市やフード、民間事業者を含めて、いかに江田島市の魅力を伝えられるかが、私の息子を含め、50年後・100年後この人口を保つということを目指し考えながら活動しています。よろしくお願いします。</p>
<p>委 員</p>	<p>江田島市の人口構造をみたら、今一番多い世代が70-75歳で、人口統計を見ると若い世代がすごく少ないんですよ。ということで若い世代をどんどん取り込んでいきたいというのは思っています。そうなったときに、若い世代というのは、お父さん・お母さんの地元というのがどうしてもあるのかなと、そのマッチングですよね。マッチングというのが大事と思っているのと、移住定住をしていて、移住の決め手って多分、知り合いを作るのが一番強いのかなと思っています。江田島市は元気な取組をされている方がたくさんいるので、そういう人たちと知り合いになってもらうという、今回のツアーもそうですけれども、重要なんじゃないかなと思っています。</p> <p>人の顔が見える仕事っていうと、商工会さんが作成されている冊子とホームページってすごく良いなと、私は思っていて、後はマッチングの面では無料職業紹介所、そこと上手いこと連携を図っていければと思っています。リクエストで言えばホームページに、どんどん新しい事業者さんを追加されていったら良いなと思っています。</p>
<p>委 員</p>	<p>まず人口減少の対策の一つとして、移住定住に取り組むという、色々出来る中の一つの手段だと思うんですけども、去年市内で働かれていて、広島から通勤されている方から、家ないですかと相談があって、島外・県外からの移住を募るのも良いと思うんですけども、それよりも先にでもよいと思うんですが、島で働いていて、島外から移住したいという方も一定数いらっしゃるのではないかと、思っています。そういった所にも何か力になれば良いなと思いました。</p> <p>あと、平田会長から、何かあればリクエストしてと言われていたと思うんですけども、冊子ですが、私普段、移住相談の窓口をさせて頂いているんですけれ</p>

	<p>ど、あの冊子があるって知ったのは、家帰ってポスト開けて「こういうのがあるんだ。すごく良いな」と、そこで知ったんです。</p> <p>そういった状況でしたので、こういった場があるのであれば、商工会さんだったり、社協さんの無料職業紹介所だったり、新規就農もそうかも知れないですけど、移住定住と仕事を掛け合わせた、何か連携をもっと取れると良いなとすごく感じてます。環境が良いよということだけでなく、実際にそういったところも手厚くなると、もっと現役世代の方にも振り向いてもらえるのかなという風には感じています。</p> <p>今回移住ツアーをやって、来年度個人的には仕事と掛け合わせて、実施出来たら良いなという風に思っていたんですけども、中々現実的に上手くアウトプット出来そうにないという所で、この度断念したんですけども、またそういった連携を取れば、すごく良いなという風に感じています。</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>冊子はしっかりと活用して頂くことが目的で、ポストに入れたのは、地域の皆さんにこの様な冊子があるということを知って頂くために全戸配布したのですが、本来様々な事業の中で、活用して頂くことが重要だと考えています。是非よろしくお願ひいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>江田島市と連携して新規就農の方を募集していて、私自身も研修を受けて就農したということで、私は元々江田島市出身ですけども、県外や市外から移住してこられて、江田島市で就農して野菜を作るとい、なので農業という仕事をしつつ、移住者や農業という面からでも関わられるかなと思っていますので、まずは私たちが農業という仕事を、選択肢としてありますよということ、示しながら、皆さん集まって来られる方と、積極的に移住者を募集と言いますか、江田島市を知ってもらおう活動だったりとか、知ってもらい来られた方に、もっとよく理解してもらおう活動を皆さんされているということ、詳しく聞けたので、機会があれば是非連携して、江田島の魅力を増やしたり知ってもらおうということ、出来たらと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>先程少しだけ話をさせて頂いたのですが、無料職業紹介をさせてもらうにあたって、良い仕事はいっぱいあるんですけど、そこに繋がっていかない所があり、社会福祉協議会は福祉専門の仕事をしておりますので、福祉を希望する方が増えるように、どうしても介護・福祉となると、昔で言う3Kですよね。「汚い・きつい・くさい」そう言うイメージが、まだ親世代には多いのかなと、親のイメージがどうしても子どもに伝わって介護に繋がりにくいのかなと思っています。</p> <p>うちの方で、20代・30代の職員が集まって、社協の見える化プロジェクトということで、今2年、来年度4月から3年目に入りますが、取組の一つとしてSNSという所を、積極的にやっいていこうということで、江田島市の方でも協力されているジーンリーの安西さんに、業務委託契約させてもらってですね、公式LINEの展開とInstagramでの情報発信という所をしております。そういった所を上手く活用していければ、色んな所と協力できるのかな、情報発信が大事な</p>

	<p>のかなといった所を本当に思っています。</p> <p>正直、会長が仰ったとおり人手不足が、福祉の業界も深刻で、介護から介護に人が流れるのであれば良いのですが、介護からコスモスさんとか、時給の良い所へ流れてしまうので、ちょっとこの辺りが太刀打ちできないのかなというのが、正直な所ですが、介護・福祉の魅力を上げていくためには、今の若い職員は楽しそうに仕事をしているので、そこの楽しさが上手く伝わって行って、外の力を取り入れると言いますか、協力して貰える流れが出来れば良いなと思っております。</p>
<p>委 員</p>	<p>色々話を聞いていて、江田島市に不足している部分を、色々考えていて、商工会の会員さんとの話にも出るんですけど、圧倒的に足りないのは、認知度、江田島界隈の方には知られているんですけど「最近テレビに出ているね」「頑張っているね」とか言われるんですけど、例えば芸北の方に行ったら、あまり知られてなく、「海の近くの所よね」といった認知度であって、私も東京にいたんですけど、東京にいた時は全く江田島市の話は出ませんでした。</p> <p>呉市とかはもちろん知っているのですが、認知度がないのと、まずそれに伴っての発信が不足しているので、移住に関しては圧倒的に認知度・発信力、江田島市においては積極性の足りなさ、色々な市町、特に同規模の竹原市や安芸高田市と比べてみても、広く補助とかをされていると思うんですけど、逆に広くしているからこそ、ポイント・ポイントで何をやっているのかが知られていない。広くしているのは知っているけれども、細かくいったら何がいくらまで出るのか、そのブラッシュアップが中々できていないのかなと思います。なので東京から帰ってくる時に、色んな補助があるのは全く知らなかったです。東京から広島市内に移住して、そこで飲食店をしていましたが、その時ですら知らなかったです。</p> <p>子育て世帯家賃補助とかあると思いますが、移住に興味があって調べた結果、知っていることであって、そうでない「移住」という言葉が少し頭にある都心の人からしたら、圧倒的に金額が大きい市町など、メディアに取り上げられる所は知っているけど、江田島や呉とか、細かい所を調べた結果分かるのであって、その辺を打ち出していく力を、予算規模とかがある中で難しいとは思いますが、SNS を使ったり、都内で説明会をする時に、お金の面を前面に出していくとか、補助制度の説明をブラッシュアップして出していければ良いのかなと思っております。</p> <p>そういったときに、デメリットといいますか、何度も何度も同じことをしていたらマンネリ化すると思いますし、それが当たり前となり、補助とか助けてもらうことが、当たり前になったら、全国的に移住希望者にとって補助されるのが当たり前ということになるので、先日うちの協議会で話をしましたけれども、パート・アルバイト・正社員の職業紹介も大事だと思うのですが、若い人、中でも奥さんであったり、旦那さんが隙間時間にできるパート・アルバイトだったり、同じ職業紹介機会として、大々的に説明会をしたり、年に1回、官民一体となつての無料相談会だとか、パート・アルバイトを募集していますというのがあれば、</p>

	<p>全ての移住者が正社員になりたい、ということではないと思うので、そういった機会があれば良いのかなと思っております。</p>
<p>委 員</p>	<p>今回出席させて貰い、若いパワーを凄い感じました。若い人がこんなに江田島で頑張っておられるのだと。その反面、なぜ島の若い子が、島の外に出てしまうのか。ここらに少し問題があるのではないかと思うんです。これは、行政や商工会、色々な会社の問題もあると思うんですが、実は私には4人孫がおりまして、4人とも島を出ると、現在も島の外で仕事に通っております。なぜかと言うと、島に魅力がないと言うんですね。島に残って仕事はしたいけど、自分が思う仕事がないというのが原因みたいですね。</p> <p>逆に広島市・呉市から働きに来られている方もおられるんですけども、その定着率、島に働きに来られて、島に移住して仕事をしたいという方が何人おられるのですかね。そこが若い皆さん方の話を聞いて、勿体無いなど。島の内側に若い人が多くいるのに何でだろうかと。一方で島の外から江田島に仕事に来られている方もおり、そんなに島に仕事があるのかなという疑問もあった訳ですね。</p> <p>今の家内も介護関係で管理職をしているのですが、若い子で介護の職に就くのが殆ど外国人の方だそうです。仕事をしている方の割合で言うと、日本の若い子の割合よりも、外国人の若い子の割合が多いそうです。</p> <p>そのような状況で、皆さん島に残られて、または島に移られております。移住に関するアイデアを出して頂いて、頑張りたいと感じています。やはり心が通う島でないといけないですね。若い人が島に定住するというのはですね。</p> <p>今まで定住者が何人おられるかなど、移住定住の事業をしてこられてきたわけですよ。一番古い定住者は今何人くらいおってなのかなと。若い人はいるのか、年寄りばかりが残っているのではないかという感じで、若い人が移住してくる案がどんどん出ていますが、それをしっかり実行されて、元気な島にして頂きたいと思います。</p>
<p>議 長</p>	<p>皆様から積極的な意見を多数いただきました。</p> <p>この協議会を通じて、色々な発信をすることが重要なのかなと思いました。引き続き取り組みを進めて頂きたいなと思えます。</p> <p>最後になりますけれども、この会で何度かお話させて頂きましたが、江田島市商工会には創業塾があり、既に7か年経過しておりまして、延べで500人近い方が受講されています。毎年定員オーバーということで、沢山の方に受講して頂いております。特に江田島市外の方が半数位、受講して頂いております、江田島市内で創業するという件数も着実に上がっております。</p> <p>そういった意味では定住促進の中で、自らが創業して、やる気のある方が江田島市に住んで頂いて、事業を行って頂いて、様々な活動や賑わいづくりの一環として取り組んで頂きたいと思っております。この事業は市の方からも貴重な補助を頂いております。更に事業を、積極的に進めて参りたいと思えます。今後もよろしく申し上げます。</p>
<p>5 閉 会</p>	

令和5年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和6年3月27日）

議 長	<p>それでは、様々な意見を頂きましたが、この度の意見を、反映させて頂くということで、この会を閉じさせて頂ければと思います。</p> <p>最後に事務局の方からよろしくをお願いします。</p>
事 務 局	<p>一点、トピックスの紹介をさせて頂きたいと思います。今年度1社から企業版ふるさと納税の制度を活用した寄附の申出がありました。相手方からの意向で、交流定住促進協議会に頑張っ欲しいとのことで、こちらの定住促進補助金の方に充当させて頂いております。こうした応援して頂ける企業さんもおりますので、来年度以降も引き続き、この交流定住促進事業を進めて参りたいと思います。</p>
議 長	<p>企業版のふるさと納税ですが、様々な話や意見がありますが、積極的に増やして頂きたいと思います。この取組については、この場では少し話が違いますが、しっかり進めて頂きたいので、宜しくお願いします。</p>
事 務 局	<p>本日、我々の参考になるような熱い意見を頂きまして、意見交換の場が大変有意義なものとなりました。有難かったです。我々もこういった意見を伺いながら、人口減少対策に努めていきたいと、この人口減少対策は何事もそうなのですが、あらゆる取り組みをした結果が、生まれていくのだと思います。例えばそれが、人口が増えた、子どもが生まれた、仕事についたとかですね、色んな物事をするから結果が生まれてくるのだと思いますので、それを念頭に入れたうえで、引き続き取り組みを進めて参りたいと思います。皆様のご協力をお願いします。</p> <p>またこの会議の意見交換の所で、このような意見を頂くのもありますし、それぞれでまた意見交換をした上で、引き続きこの繋がりで取組が大きくなっていくことになれば、うちとしても有難いので、またよろしくをお願いします。</p> <p>また、事務局から連絡事項です。来年度以降、委員委嘱先の団体について、見直しを行う予定です。交流定住促進施策を強力に推進していくため、各団体と本協議会との関連性を検証し、組織体制について見直します。については、今後検証のため、各委員の皆様へ、ヒアリングやご相談等させて頂く場合があります。その際は、御協力の程よろしくお願いたします。</p> <p>事務局からは以上です。</p>
議 長	<p>今日まで会長を務めさせて頂き、至らぬ点もありましたが、皆様のおかげで何とか務めさせて頂くことが出来ました。本日まで参加いただきまして誠にありがとうございます。引き続きよろしくお願いたします。以上で終了いたします。ありがとうございました。</p>